

## 1991年度（平成3年度）総会議事録

場 所 東京都千代田区大手町 1-3-4  
 会 場 気象庁 講堂  
 日 時 5月23日 13時00分—14時20分  
 次 第

1. 開会
2. 議長選出
3. 理事長挨拶
4. 学会賞授与
5. 藤原賞授与
6. 1990年度事業報告
7. 1990年度会計決算報告
8. 1990年度監査報告
9. 奨励金受領者選定規定の改正（案）
10. 1991年度事業計画（案）
11. 1991年度収支予算（案）
12. 議長解任
13. 閉会

通常会員数 3738名

出席者数

	総会当日	総会成立に必要な最少人数
出席者	172名	150名（通常会員の1/25）
委任状	773名	

合 計 945名 748名（通常会員の1/5）

1. 開 会  
青木庶務担当理事が開会の辞を述べた。
2. 議長選出  
満場一致で大会委員長代理、住 明正会員（東京大学理学部）が選出された。議長から挨拶が述べられた。

### 3. 日本気象学会理事長挨拶

本学会の大会は年々盛会となり、研究発表数も増加の一途をたどっています。誠に喜ばしいことであります。日本気象学会の近況ならびに運営などについて事業報告および事業計画（案）で報告・提案がなされますので、詳細はそちらに譲ることにして、この機会に、二、三の事項に限定して報告や所感を述べさせていただきます。

#### 1. 学際領域の開拓

周辺・境界研究領域や新しい技術を積極的に取り込むことによって、研究対象の拡大・研究手法の多様化をは

かり、気象学を一層魅力あるものとするべく努力してきました。「気象集誌」や「天気」の編集方針、「気象研究ノート」の題材、堀内基金奨励賞、大会のセッションやシンポジウムの設定、研究連絡委員会の活動、他学協会との協力等々にそれが反映されています。一方、研究成果の実用化への発展を通して、気象事業、ひいては社会へ貢献する努力を評価しなければなりません。

#### 2. 国際学术交流の推進

WCRP, IGBP 等の地球環境にかかわる国際共同研究を始め、諸外国との共同研究や国際研究集会等に参加する会員は年々増加しつつあります。欧米先進諸国のみならず近隣のアジア諸国との交流・協力にも力を注ぐべく、学会はそれらの活動を積極的に支援します。

第6回 IAMAP 総会が日本で開催されることについては既にお知らせした通りですが、本年3月、日本学術会議が本学会と共同主催する旨の決定がなされました。目下、1993年7月横浜国際会議場で第4回 IAHS（国際水文科学協会）総会と合同の国際研究集会を開催すべく準備しつつあります。アジア地域で開かれる最初のIAMAP 総会を成功させるべく会員の皆様の御協力をお願いするとともに、大いにこの機会を活用されることを期待しています。

#### 3. 学会の運営体制の見直し

本大会における研究発表数は285件に達し新記録となりました。これまで、3会場・3日間の枠内で処理すべく諸々の方策をとってきました。会員の熱意をかきたてるというよりは、一人当たり発表件数の制限、発表時間の短縮など心ならずも消極的な対処がなされています。今や、春・秋の大会、シンポジウム、月例会等各種研究集会それぞれの位置づけも含めた全般的根本的検討を要する段階にさしかかっています。

本年の「天気」の巻頭言にもふれましたように、学会役員の選出方式、事務局体制、支部活動等々学会の運営全般にわたって見直しをする時期にきており、上記の大会運営問題はその一例であります。これまで永年にわたって培われてきた気象学会の良き伝統を受け継ぎつつ、学会の発展のため、大胆な改革に向けて会員各位の御意見をお寄せ下さるようお願いいたします。

最後に、本大会のお世話をいただいている松野太郎大会委員長始め東京大学所属会員の方々に御礼申し上げる

と共に、会場その他諸々の便宜をおはかりいただいた気象庁関係各位に謝意を表します。

#### 4. 学会賞受賞者の選定経過報告と授与式

学会賞候補者推薦委員長の田中理事から選定経過およびその理由について報告があり理事長から受賞者に賞状並びに賞金が授与された。

受賞者と業績

- ・廣岡 俊彦（気象庁気象大学校）  
プラネタリーロスビー波に関する解析的研究
- ・青木 忠生（気象庁気象研究所）  
大気分光学の気象学およびリモートセンシングへの応用

#### 5. 藤原賞受賞者の選定経過報告と授与式

藤原賞候補者推薦委員長の小倉理事から選定経過およびその理由について報告があり理事長から受賞者に賞状並びに賞金が授与された。

受賞者と業績

- ・荒川 昭夫（カリフォルニア大学）  
数値モデルによる大気大循環の研究
- ・北川信一郎（東京家政大学）  
雷研究の発展に貢献し、人体への落雷の本質を解明し、雷害防止に寄与した功績

#### 6. 1990年度事業報告

庶務担当青木理事から総会資料に基づいて報告が行われた。

#### 7. 1990年度会計決算報告

会計担当中村理事から総会資料に基づいて報告が行われた。

#### 8. 1990年度監査報告

多田監事から5月1日に実施した監査結果を大会資料に基づいて報告し、監査意見が述べられた。

以上3件（6.7.および8.）の議案について、議長から質疑が求められた。会員から事業報告の委託業務について詳しい説明が求められ理事長が説明をして了承された。採決が行われ、賛成多数により議案どおり承認された。

#### 9. 奨励金受領者選定規定の改正

各賞担当中村理事から提案理由について説明が行われた。議長から質疑が求められたが意見がなく、賛成多数により議案どおり承認された。

#### 10. 1991年度事業計画案

庶務担当青木理事から大会資料に基づいて説明が行われた。

#### 11. 1991年度収支予算案

会計担当中村理事から大会資料に基づいて説明が行われた。以上2件（10.11）の議案について、議長から質疑が求められた。意見がなく、賛成多数により議案どおり承認された。

#### 12. 議長解任

総会協力について感謝する旨の挨拶が述べられ退任した。

#### 13. 閉会

以上をもって、総会を終了した。

総会議長 住 明正

出席者代表 佐藤 信夫

出席者代表 安富 裕二

## 1990年度事業報告

## 1 会員数の動向

1991年2月1日現在会員数		4340			
一般	A	2,555	団体	A	133
	B	1,011		B	257
学生	A	101	賛助会員		47
	B	71	名誉会員		5
特別会員	個人	31			
	団体	49			

## 2 機関誌等の刊行

- (1) 天 気 37巻4号-38巻3号 12冊(昨年度より38ページ増)  
各号 約4300部印刷。  
紙面を充実した。
- (2) 気象集誌 68巻2号-69巻1号 6冊(昨年度より208ページ減)  
各号 1900部印刷。
- (3) 気象研究ノート 168号「熱帯の対流活動と日本の天候」 122頁 1800部  
169号「地球監視のための人工衛星計画」120頁 1800部  
170号「気象災害-気象学会員への注文」 92頁 1800部  
春季大会 1100部 秋季大会 1050部印刷
- (4) 予稿集

## 3 会 議

- (1) 総 会 1990年5月24日 気象庁講堂  
出席者:162名、委任状:762名、計:924名  
ア 平成元年度事業報告・決算報告、1990年度事業計画・予算等  
が承認された。  
イ 会員の種別の改正及びそれに関する定款及び細則の一部改正が承  
認された。
- (2) 理 事 会 第25期 第4回 1990年 5月24日 気象庁  
第25・26期合同第1回 1990年 7月25日 気象庁  
第26期 第2回 1990年10月24日 京都市
- (3) 常任理事会 第25期 第15回-第18回 計4回 気象庁  
第26期 第1回-第6回 計6回 気象庁
- (4) 評 議 員 会 第26期 第1回 1991年 2月2日

## 4 講演会および研究会

(1) 春季大会 1990年5月23日-25日 東京: 気象庁(担当: 東京管区气象台)  
シンポジウム「地球システムの風景」

(2) 秋季大会 1990年10月24-26日 京都: 京都府総合見本市会館  
(担当: 関西支部)

シンポジウム「集中豪雨」

## (3) 研究会

ア オゾン研究会 東京 1990年 5月23日

イ 同 京都 1990年10月26日

ウ

## (4) 月例会等

ア

第33回山の気象シンポジウム 1990年 6月16日

イ 長期予報と大気大循環 1990年 9月21日

ウ レーダー気象 1991年 1月25日

## (5) 他学会との共催等(国際学術交流事業を除く)

ア 南極シンポジウム(地球気候における南極氷床の役割)

東京 1990年 5月 22日

イ 第27回理工学における同位元素研究発表会 1990年 7月2-4日

ウ 第11回風工学シンポジウム 1990年12月6-7日

エ 第37回風に関するシンポジウム 1991年 1月 25日

## 5 研究業績の表彰および研究の奨励

## (1) 研究業績の表彰

ア 日本気象学会賞 巽 保夫

岩坂 泰信

イ 藤原賞 藤田 哲也

ウ 山本・正野論文賞 向川 均

エ 堀内基金奨励賞 近藤 豊

吉川 久幸

(2) 奨励金受領者 横田 寛伸

松村 哲

## 6 支部活動

## (1) 北海道支部

- |   |          |        |             |
|---|----------|--------|-------------|
| ア | 第1回研究発表会 | (北大)   | 1990年 6月19日 |
| イ | 地方講演会    | (室蘭)   | 1990年11月19日 |
| ウ | 第2回研究発表会 | (札幌管区) | 1990年10月31日 |

## (2) 東北支部

- |   |         |      |             |
|---|---------|------|-------------|
| ア | 気象講演会   | (仙台) | 1990年11月29日 |
| イ | 地方気象講演会 | (福島) | 1990年12月13日 |

## (3) 中部支部

- |   |       |       |                |
|---|-------|-------|----------------|
| ア | 支部総会  | (名古屋) | 1990年 9月28日    |
| イ | 気象研究会 | (名古屋) | 1990年11月19-20日 |

## (4) 関西支部

- |   |       |      |                |
|---|-------|------|----------------|
| ア | 総会・年会 | (大阪) | 1990年 6月 6日    |
| イ | 研究会   | (京都) | 1990年10月24-26日 |
| ウ | 例会    | (広島) | 1990年11月22日    |
| エ | 例会    | (高松) | 1990年11月30日    |
| オ | 例会    | (神戸) | 1991年 2月 2日    |

## (5) 九州支部

- |       |      |             |
|-------|------|-------------|
| 例会講演会 | (福岡) | 1991年 1月25日 |
|-------|------|-------------|

## (6) 沖縄支部

- |       |       |                |
|-------|-------|----------------|
| 気象研究会 | (石垣島) | 1991年 2月21-22日 |
|-------|-------|----------------|

## 7 普及活動

- |                  |             |                |           |
|------------------|-------------|----------------|-----------|
| (1) 第24回夏季大学     | 「海と大気」      | 1990年7月24日-27日 | 気象庁       |
| (2) 関西支部第12回夏季大学 | 「気候変動と異常気象」 | 1990年7月23日-25日 | 大阪市なにわ会館  |
| (3) 北海道支部第8回夏季大学 | 「新しい気象」     | 1990年7月27日-28日 | 札幌市青少年科学館 |

## 8 国際学術交流

## (1) 国際地球物理金沢会議 (アメリカ地球物理学連合と共催)

1990年8月21日-24日 金沢市厚生年金会館

## (2) 国際学術研究集会参加補助

万納寺	信崇	「TAMEXに関する第3回研究集会」	ボールドー
萩野谷	正徳	「気候変動に関する国際シンポジウム」	北京
松本	淳	同	北京
高藪	緑	「International TOGA Scientific Conference」	ホノルル
里村	雄彦	「大気輸送モデル評価研究ワークショップ」	ミラノ

9. 日本学術会議第15期研究団体の登録を6月21日に申請した。

10 会員制度の改正を行った。(1991年1月1日実施)

## 11 役員の改選

平成2年7月6日に開票が行われ、第26期の新役員が選出された。

## 12 評議員

第26期評議員が決定した。

## 13 パソコン通信

通信速度が2400bpsのモデムに更新した。

## 14 委託研究

国立環境研究所から「気候モデルに及ぼす雲の影響に関する調査・研究」の委託を受けた。

## 15 事務局

会員データベースによる事務処理を外部業者に一部委託した。

## 収支計算書

1990年度 (1990年4月1日より  
1991年3月31日まで)

勘定科目	予算額	決算額	内訳		差異	備考
			公益部門	収益部門		
1. 基本財産運用収入	1,688,000	3,294,984	2,381,478	913,506	1,606,984	
基本財産利息収入	1,087,000	2,381,478	2,381,478		1,294,478	
基本財産配当金収入	601,000	913,506		913,506	312,506	
2. 会費収入	37,366,000	32,321,685	32,321,685	0	△5,044,315	
個人会員会費と入会金	29,371,000	24,034,481	24,034,481		△5,336,519	
団体会員会費	4,608,000	4,607,530	4,607,530		△470	
外国人会員会費	203,000	304,185	304,185		101,185	
外国団体会員会費	294,000	447,549	447,549		153,549	
賛助会員会費	2,890,000	2,927,940	2,927,940		37,940	
3. 事業収入	22,916,000	14,122,438	5,142,789	8,979,649	△8,793,562	
大会開催事業	700,000	824,990	824,990		124,990	
研究ノート刊行	14,756,000	6,577,774	6,577,774		△8,178,226	未収金を含む
予稿集刊行	4,036,000	3,389,152	3,389,152		△646,848	
その他	3,424,000	3,330,522	928,647	2,401,875	△93,478	夏季大学、パーパース、書店扱
4. 補助金収入	3,890,000	4,080,000	4,080,000	0	190,000	
科学研究費	3,890,000	4,080,000	4,080,000		190,000	
5. 寄付金収入	50,000	14,500	14,500	0	△35,500	
寄付金	0	14,500	14,500		14,500	
募金	50,000	0	0	0	△50,000	
6. 雑収入	12,907,000	8,533,507	3,302,753	5,230,754	△4,373,493	
雑収入	12,907,000	8,533,507	3,302,753	5,230,754	△4,373,493	投稿料, 別刷, 広告
7. 特定預金取崩収入	1,462,000	0	0	0	△1,462,000	
退職給与引当金取崩	322,000				△322,000	
総会費用引当金取崩	1,140,000				△1,140,000	
IAMAP準備金取崩	0				0	
当期収入合計	80,279,000	62,367,114	47,243,205	15,123,909	△17,911,886	
前期繰越収支差額	4,100,000	4,111,852	1,061,833	3,050,019	11,852	
収入合計	84,379,000	66,478,966	48,305,038	18,173,928	△17,900,034	

2. 支出の部 (円)

勘定科目	予算額	決算額	内訳		差異	備考
			公益部門	収益部門		
I. 事業費	58,017,000	45,311,937	34,680,524	10,631,413	△12,705,063	
図書購入費	300,000	121,900		121,900	△178,100	
臨時雇用賃金	2,682,000	2,146,125	1,609,593	536,532	△535,875	
会議費	0	0			0	
旅費交通費	335,000	202,200	151,650	50,550	△132,800	
大会開催事業費	2,200,000	2,124,950	2,124,950		△75,050	
通信運搬費	6,688,000	4,797,707	3,598,280	1,199,427	△1,890,293	
編集費	6,106,000	5,015,556	3,761,667	1,253,889	△1,090,444	
印刷製本費	38,836,000	29,876,459	22,407,344	7,469,115	△8,959,541	
雑費	60,000	287,040	287,040		227,040	
藤原賞	100,000	100,000	100,000		0	
山本正野賞	100,000	100,000	100,000		0	
奨励金	210,000	140,000	140,000		△70,000	
堀内基金奨励賞	200,000	200,000	200,000		0	
学会賞	200,000	200,000	200,000		0	
2. 管理費	20,132,000	18,469,276	13,245,823	5,223,453	△1,662,724	
給料手当	6,400,000	6,373,017	4,779,762	1,593,255	△26,983	
退職給与	322,000	322,000	241,500	80,500	0	
福利厚生費	478,000	518,453	388,839	129,614	40,453	
会議費	880,000	486,809	365,106	121,703	△393,191	
旅費交通費	260,000	282,790	212,092	70,698	22,790	
通信運搬費	1,530,000	1,148,961	861,720	287,241	△381,039	
什器備品費	750,000	156,000	117,000	39,000	△594,000	
消耗品	444,000	432,746	324,555	108,191	△11,254	
印刷製本費	1,030,000	615,658	461,743	153,915	△414,342	総会費用を含む
光熱水料	300,000	162,624	121,968	40,656	△137,376	
貸借料	900,000	510,435	382,826	127,609	△389,565	
負担金	144,000	135,834	101,834	34,000	△8,166	
租税公課	1,000,000	720,500		720,500		
雑費	1,681,000	949,099	731,616	217,483	△731,901	
支部交付金	2,605,000	2,514,900	1,886,175	628,725	△90,100	
諸謝金	200,000	114,000		114,000	△86,000	
電子計算機運営費	1,208,000	3,025,450	2,269,087	756,363	1,817,450	会員データベース外注費を含む

勘定科目	予算額	決算額	内訳		差異	備考
			公益部門	収益部門		
3. 国際交流事業費	800,000	550,000	550,000	0	△250,000	
国際学術交流費	800,000	550,000	550,000		△250,000	
4. 基本金繰入支出	50,000	115,729	115,729	0	65,729	
基本基金繰入	50,000	115,729	115,729		65,729	
5. 特定預金支出	600,000	124,458	124,458	0	△475,542	
退職給与引当金	300,000	18,133	18,133		△281,867	
総会費用引当金	300,000	72,276	72,276		△227,724	
IAMAP準備金	0	0	0		0	
堀内奨励賞引当金	0	34,049	34,049		34,049	
6. 予備費	1,000,000				△1,000,000	
7. 公益事業へ繰出	0					
当期支出合計	80,599,000	64,571,400	48,716,534	15,854,866	△16,027,600	
当期収支差額	△320,000	△2,204,286	△1,473,329	△730,957	△1,884,286	
次期繰越収支差額	3,780,000	1,907,566	△411,496	2,319,062	△1,872,434	
合計	84,379,000	66,478,966	48,305,038	18,173,928	△17,900,034	

# 損益計算書

1990年度 (1990年4月1日より  
1991年3月31日まで)

損失の部 (円)		利益の部 (円)	
事業支出	9,922,431	事業収入	8,979,649
印刷製本費	7,469,115	気象研究ノート収入	6,577,774
通信運搬費	1,199,427	書店取扱収入	2,335,919
編集費	1,253,889	ペーパーズ	65,956
運営基本支出	5,932,435	その他の収入	6,144,260
給料手当	1,593,255	受取利息収入	913,506
旅費交通費	50,550	広告料収入	3,436,500
貸借料	127,609	別刷収入	1,482,196
通信運搬費	287,241	その他雑収入	312,058
什器備品費	39,000		
会議費	121,703		
公租公課	720,500		
光熱水料	40,656		
消耗品費	108,191		
福利厚生費	129,614		
印刷製本費	153,915		
電子計算機運営費	756,363		
諸謝金	114,000		
支部交付金	628,725		
退職給与	80,500		
図書購入費	121,900		
臨時雇用賃金	536,532		
旅費交通費	70,698		
負担金	34,000		
雑費	217,483		
公益事業繰出	0		
期首棚卸	1,401,441	期末棚卸	1,461,192
費用合計	17,256,307	収益合計	16,585,101
当期利益	△671,206		
前期繰越金	4,451,460		
次期繰越金	3,780,254		

貸借対照表

1990年度 (1990年4月1日より  
1991年3月31日まで)

科 目	合 計 (円)		内 訳 (円)	
	公 益 部 門	収 益 部 門	公 益 部 門	収 益 部 門
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金	12,977		11,724	1,253
普通預金	4,125,958		4,094,958	31,000
郵便振替預金	6,630,036		5,310,037	1,319,999
公社債信託	13,827,250		13,427,250	400,000
未収金	566,810		0	566,810
(小計)	(25,163,031)		(22,843,969)	(2,319,062)
棚卸資産	2,747,062		1,285,870	1,461,192
流動資産合計	27,910,093		24,129,839	3,780,254
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
貸付信託 (基本金他)	21,762,955		21,762,955	
公社債信託 (国際交流)	25,302,570		25,302,570	
公社債信託 (堀内基金)	5,650,000		5,650,000	
(基本財産合計)	(52,715,525)		(52,715,525)	
(2) その他固定資産				
金銭信託 (退職給与引当金)	830,128		830,128	
公社債信託 (総会費用引当金)	1,216,805		1,216,805	
公社債信託 (堀内奨励賞引当金)	573,239		573,239	
公社債信託 (IAMAP準備金)	6,000,000		6,000,000	
什器備品	1,598,990		1,598,990	
(その他固定資産合計)	(10,219,162)		(10,219,162)	
固定資産合計	62,934,687		62,934,687	
資産合計	90,844,780		87,064,526	3,780,254

科 目	合 計 (円)		内 訳		(円)
			収益部門		
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
前受会費	23,255,465	23,255,465	23,255,465		
流動負債合計					
2. 固定負債					
退職給与引当金	830,128		830,128		
総会費用引当金	1,216,805		1,216,805		
堀内奨励賞引当金	573,239		573,239		
IAMAP準備金	6,000,000		6,000,000		
固定負債合計		8,620,172		8,620,172	
負債合計		31,875,637		31,875,637	
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 公益部門					
前期繰越正味財産額	61,598,027		57,146,567		
(うち基本財産)	(52,599,796)		(52,599,796)		
当期正味財産増加額	△2,628,884		△1,957,678		
(うち基本財産増加額)	(115,729)		(115,729)		
期末正味財産合計額		58,969,143		55,188,889	
(うち基本財産)		(52,715,525)		(52,715,525)	
2. 収益部門					
前期繰越剰余金				4,451,460	
当期剰余金				△671,206	
未処分剰余金					3,780,254
正味財産合計		58,969,143		55,188,889	3,780,254
負債及び正味財産合計		90,844,780		87,064,526	3,780,254

(社団法人) 日本気象学会 1990年度決算書

# 正味財産増減計算書

1990年度 (1990年4月1日より  
1991年3月31日まで)

	II 減少の部 (円)			I 増加の部 (円)		
	合計	公益部門	収益部門	合計	公益部門	収益部門
資産減少額	(3,287,389)	(1,885,948)	(1,401,441)	(782,963)	(52,728)	(730,235)
什器備品減価償却費	600,858	600,858		△2,204,286	△1,473,329	△730,957
期首棚卸減少額	2,686,531	1,285,090	1,401,441	2,747,062	1,285,870	1,461,192
負債増加額	(124,458)	(124,458)	(0)	115,729	115,729	
退職給与引当金	18,133	18,133		18,133	18,133	
総会費用引当金	72,276	72,276		72,276	72,276	
堀内奨励賞引当金	34,049	34,049		34,049	34,049	
減少額合計	3,411,847	2,010,406	1,401,441	(0)	(0)	(0)
当期正味財産増加額	△2,628,884	△1,957,678	△671,206	782,963	52,728	730,235
前期繰越正味財産額	61,598,027	57,146,567	4,451,460			
期末正味財産合計額	58,969,143	55,188,889	3,780,254			
増加額合計						

# 財産目録

1991年3月31日現在

資産総額 90,844,780 円

種類	預入先	金額 (円)	備考
<b>1. 基本財産</b>			
貸付信託	住友信託銀行 日比谷支店	11,750,000	基本金
	〃	6,500,000	山本・正野論文賞
	〃	1,600,000	藤原賞
	三井信託銀行	1,912,955	藤原賞
公社債信託	野村証券 東京支店	25,302,570	国際学術交流基金
	日興証券 新丸ビル支店	5,650,000	堀内基金
	合計	52,715,525	
<b>2. その他の固定資産</b>			
種類	預入先	金額 (円)	備考
金銭信託	住友信託銀行 日比谷支店	830,128	退職給与引当金
公社債信託	野村証券 銀座支店	1,216,805	総会費用引当金
	日興証券 新丸ビル支店	573,239	堀内奨励賞引当金
	三井信託銀行	6,000,000	IAMAP準備金
什器備品		1,598,990	
	合計	10,219,162	
<b>3. 流動資産</b>			
種類	預入先	金額 (円)	備考
現金	手元保管	12,977	
普通預金	第一勧業銀行 大手町支店	4,040,870	
	東京銀行	85,088	
郵便振替預金	中央郵便局	6,630,036	
	大手町一郵便局	0	
公社債信託	野村証券 東京支店	6,905,293	
	日興証券 新丸ビル支店	6,921,957	
未収金		566,810	
期末在庫高		2,747,062	
	合計	27,910,093	

## 計算書類に対する注記

1990年度

## 1. 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法について  
有価証券. . . . . 総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却について  
什器備品. . . . . 定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準について  
退職給与引当金. . . 期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。  
総会費用引当金. . . 隔年度の総会費用経費に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金預金、未収金及び前受金を含めることとしている。  
なお当期末残高は、2に記載するとおりである。

## 2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科 目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	12,977	11,724	1,253
普通預金	4,125,958	4,094,958	31,000
郵便振替貯金	6,630,036	5,310,037	1,319,999
公社債信託	13,827,250	13,427,250	400,000
未収金	566,810	0	566,810
(合 計)	(25,163,031)	(22,843,969)	(2,319,062)
前受会費	23,255,465	23,255,465	
(合 計)	(23,255,465)	(23,255,465)	(0)
次期繰越収支差額	1,907,566	△411,496	2,319,062

## 3. 基本財産の増減及びその残高は次のとおりである。

科 目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	11,750,000
藤原賞	114,983	0	3,512,955
山本・正野論文賞	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	746	0	25,302,570
堀内基金	0	0	5,650,000
合 計	115,729	0	52,715,525

## 4. 固定資産の取得額、減価償却累計額、及び当期末残高は次のとおりである。

科 目	取得額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,830,674	2,231,684	1,598,990
合 計	3,830,674	2,231,684	1,598,990

## 社団法人日本気象学会監査報告書

社団法人日本気象学会の財産及び業務執行の状況を次のとおり報告する。

1. 監査月日 平成3年5月1日
2. 監査場所 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内  
社団法人 日本気象学会事務局
3. 監査帳簿
  - (1) 平成2年度収支計算書他
  - (2) 財産目録
  - (3) 総勘定元帳
  - (4) 現金出納帳
  - (5) 預金出納帳
  - (6) 備品台帳
  - (7) 物品出納帳
  - (8) 領収書類
  - (9) 預金証書及び普通預金通帳
  - (10) 郵便局振替払出納帳
  - (11) 国庫金送金通知書綴
  - (12) 現金書留受領簿
  - (13) 小切手帳及び小切手受払簿
  - (14) 平成2年度事業報告書
4. 監査内容
  - (1) 平成2年度収支計算書及びその他の計算書について、その経理状況を監査するとともに、財政状況を調べた。
  - (2) 上記の帳簿類について、照合を行うとともに、出納状況及び記載事項の監査を実施した。
  - (3) 学会の運営状況について聴取し、意見を述べた。

## 5. 監 査 意 見

監査の結果、平成2年度（平成2年4月1日から平成3年3月31日まで）の収支決算書は正しいと認める。会計帳簿は照合の結果、正確であった。ただ帳簿の整理に不完全な部分が見られたが、速やかに改善するように指示した。学会の経理事務は、学会活動の拡大と共に著しく増加しており、事務局員の負担が過大になりつつある。今後事務処理の簡素化と機械化を一層推進する必要がある。会費の納入状況は良好であり、財政は安定している。また、会費の徴収方法の改善が進められているところであり、会員の協力を期待する。

事業はほぼ計画どおり遂行されている。昨年度も指摘したことではあるが、気象研究ノートは年間発行回数・同ページ数の不規則性及び販売部数予測の不確実性など不定期刊行に伴う種々の困難はあるが、学会の重要な事業の一つであり、また予算執行上にも影響の少ない点を配慮してその健全な発展を図ることが必要である。

国際交流事業は順調に成果を上げているが、事業の強化充実によりさらに学会の国際化を一層推進する必要がある。新たに実施された会員制度の改善は学会の国際化の方針に沿うものであり、今後外国在住の会員の増加が期待される。

また、地球環境問題への積極的な関与を初めとして今後学会活動は社会との関わりを深める必要がある。この観点からも、学会活動をささえる運営体制や役員制度の見直しを早急に行なうことが必要である。

この1年間の学会の運営に携わってきた役員や事務局員の尽力を高く評価する。

平成 3 年 5 月 1 日

監 事 関 口 理 郎 

監 事 多 田 一 正 

## 奨励金受領者選定規程の改訂について

### 1 選考日程の繰り上げ

現行の日程には次のような問題がある。

- (1) 選考委員会から秋季大会まで余裕がなく、事前に「天気」に受領者を発表できない場合がある。
- (2) 2年毎の役員選挙で、選考委員会の委員長である理事が選考過程の途中で交代することがある。

これを解決するために、選考日程をほぼ2ヶ月早めるよう選定規程を改訂する。

(選考過程)	(現行)	(改正案)
募集開始	6月初旬	4月初旬 (天気3月号で募集)
選考委員会	8月下旬	6月下旬
常任理事会に報告	9月	7月
全国理事の投票	9月	8月
天気に発表	10月または11月号	9月または10月号
秋季大会で授与	10月または11月	左に同じ

### 2 教育関係の推薦委員の会員資格の緩和

奨励金は小学校・中学校・高校の先生など教育関係者を特に対象者として含めるよう努力している。従来、選考委員会の推薦委員のうち数名は、教育関係に造詣の深い会員にお願いしてきており、教育分野の候補者の発掘及び選考に大きな貢献をされてきた。

しかし、気象学会の現状では、教育分野の会員が少なく、推薦委員をお願いできる会員を探すのが難しい。選定規程にある「推薦委員は会員」という制限を緩め、気象学会員でなくても気象に関心のある先生に推薦委員になっていただけるようにする。

### 3 選定規程の改訂 (案)

(改訂案)	(改訂事項)
2. 委員会は、担当理事を長とする約5名の推薦委員をもって組織し、各委員は毎年 <b>4月</b> に理事長が <b>原則</b> として会員の中よりこれを委嘱する。委員は日本気象学会の他の賞の候補者推薦委員と重複しても差し支えない。	6月→4月 原則として (挿入)
3. 委員会は、奨励金受領者の募集を行い、応募のあった申請のうちから原則として3件を選び、選定理由書をつけて <b>6月</b> 末までに理事長に報告する。	8月→6月

# 1991年度事業計画

## 1 機関誌等の刊行

- (1) 天 気 38巻4号-39巻3号  
「1990年代の気象学の手引」の掲載を開始する  
カラーページを隔月掲載する
- (2) 気象集誌 69巻2号-70巻1号  
(70巻1号でアジアモンスーンの特集を行う)
- (3) 気象研究ノート 171号-175号

## 2 講演会および研究会

- (1) 春季大会 1991年 5月22日-24日 東京：気象庁  
(担当：東京大学)
- (2) 秋季大会 1991年10月23日-25日 (名古屋市：国際会議場)  
(担当：中部支部)
- (3) 研究会、月例会等及び他学会との共催等

## 3 普及活動

- (1) 第25回夏季大学 1991年8月 5日- 8日、気象庁
- (2) 関西支部第13回夏季大学 1991年7月25日-26日、なにわ会館
- (3) 北海道支部第9回夏季大学 1991年7月30日-31日、札幌管区气象台及び  
札幌市青少年科学館

## 4 国際学術交流

国際学術研究集会への参加補助金を昨年度より増額する。

## 5 1993年のIAMAP開催の準備

## 6 第15期日本学術会議会員の推薦(6月中旬)

## 7 奨励金受領候補者推薦に関する細則の一部改正

## 8 役員制度と選挙方法の見直し

## 9 事務局

前年度に引続き会員データベースの充実を図る。

## 収支予算書

1991年度

1991年 4月1日より

1992年 3月31日まで

## 1. 収入の部 (千円)

勘定科目	90年度 予算	91年度 予算	内訳		増減	備考
			公益部門	収益部門		
1. 会費	37,366	34,586	34,586		△2,780	
前期繰越前受会費	22,151	23,255	23,255		1,104	
当期分会費	15,175	11,331	11,331		△3,844	91年2月1日の会員数で推算
通常会員	7,383	2,423	2,423		△4,960	旧外国人会員を含む
特別会員	0	610	610		610	旧外国人会員を含む
団体会員	4,902	5,278	5,278		376	旧団体外国人会員を含む
賛助会員	2,890	3,020	3,020		130	
入会金	40	0	0		△40	91年より廃止
2. 基本財産運用	1,688	3,304	3,304		1,616	
一般基金	1,688	1,651	1,651		△37	
国際交流基金	0	1,653	1,653		1,653	
3. 事業収入	34,464	30,434	11,922	18,512	△4,030	
天気	3,670	3,042	0	3,042	△628	
気象集誌	7,525	6,572	5,072	1,500	△953	
気象研究ノート	15,109	10,658		10,658	△4,451	5号,1530部,162頁
予稿集	4,036	4,750	4,300	450	714	2200冊販売
大会開催	700	1,600	1,600		900	参加費値上げ
教育と普及	800	845	845		45	夏季大学参加費とテキスト
ペーパーズ	134	312		312	178	4号,70部,1部1200円
書店扱	2,420	2,550		2,550	130	
その他事業収入	70	105	105	0	35	上記以外の刊行物,受託業務
4. 補助金収入	3,890	4,080	4,080		190	
科学研究費	3,890	4,080	4,080		190	
5. 寄付金収入	50	0	0	0	△50	
寄付金	0	0	0		0	
募金	50	0	0		△50	
6. 引当金取崩	1,462	4,002	4,002		2,540	
退職金引当金	322	322	322		0	
総会費用引当金	1,140	1,140	1,140		0	
IAMAP 準備金	0	2,540	2,540		2,540	
7. 雑収入	1,359	1,512	1,147	365	153	
受取利息	798	1,232	1,147	85	434	引当金,準備金,運用財産
印税・著作権料	0	280	0	280	280	
その他雑収入	561	0	0		△561	91年度は他の科目に移行
8. 収益事業から繰入	0	141	141		141	
当期収入合計	80,279	78,059	59,182	18,877	△2,220	
前期繰越収支差額	4,100	1,908	△411	2,319	△2,192	
収入合計	84,379	79,967	58,771	21,196	△4,412	

## 2. 支出の部 (千円)

勘定科目	90年度 予算	91年度 予算	内訳		増減	備考
			公益部門	収益部門		
I. 事業費	55,422	53,461	41,119	12,342	△1,961	
天気	21,563	21,669	19,415	2,254	106	
印刷製本費	16,151	17,268	15,085	2,183	1,117	カラ-頁,気象手引
編集委員会費	2,026	1,300	1,300	0	△726	
通信運搬費	3,386	3,101	3,030	71	△285	
気象集誌	14,438	11,659	10,596	1,063	△2,779	モンスーン特集、印刷部数減
印刷製本費	10,353	8,417	7,527	890	△1,936	電子出版
編集委員会費	1,910	1,289	1,289	0	△621	91年度よりパソコン通信分離
校正料	615	615	615	0	0	
通信運搬費	1,560	1,338	1,165	173	△222	
気象研究ノート	12,014	8,697	0	8,697	△3,317	5号,1850部,162頁
印刷製本費	9,192	6,444	0	6,444	△2,748	電子出版
編集委員会費	243	703	0	703	460	
原稿料	1,175	972	0	972	△203	
通信運搬費	1,404	578	0	578	△826	
予稿集	2,198	2,126	2,081	45	△72	2300部印刷,年500頁
印刷製本費	1,860	1,741	1,696	45	△119	
通信運搬費	338	385	385	0	47	
大会開催	2,300	2,702	2,702	0	402	
春秋大会	1,500	2,400	2,400	0	900	本部からの補助金増額
その他会合	700	152	152	0	△548	地球科学シンポジウム他
講演企画委	100	150	150	0	50	若手会補助を含む
教育と普及	757	798	798	0	41	
教育普及委員会	177	293	293	0	116	夏季大学開催費を含む
夏季大学印刷費	580	505	505	0	△75	
ペーパーズ	280	283	0	283	3	
表彰・奨励	962	1,377	1,377	0	415	
賞金	810	910	910	0	100	
委員会	100	127	127	0	27	
雑費	52	340	340	0	288	賞状印刷,メダル作成
国際学術交流	820	1,520	1,520	0	700	
参加旅費補助	800	1,500	1,500	0	700	IUGG
交流事業	0	0	0	0	0	
委員会費	20	20	20	0	0	
研究連絡会	30	90	90	0	60	極域、オゾン、メソ気象
IAMAP 準備委	0	2,540	2,540	0	2,540	
雑費	60	0	0	0	△60	

勘定科目	90年度 予算	91年度 予算	内訳		増減	備考	
			公益部門	収益部門		収益収入比率	
2. 管理費	23,527	22,041	16,225	5,816	△1,486	収益収入比率	25.00%
人件費	9,920	8,954	6,715	2,239	△966		
職員給料	6,400	6,400	4,800	1,600	0		
福利厚生費	478	478	358	120	0		
臨時雇用賃金	3,042	2,076	1,557	519	△966	雇用期間縮小。天気書記含む	
退職金	322	0	0	0	△322		
事務局維持費	1,704	1,812	1,358	454	108		
賃借料	900	900	675	225	0	移転予定	
光熱水料	300	250	187	63	△50	同上	
消耗品	504	462	346	116	△42		
移転費	0	200	150	50	200		
什器備品	600	1,550	1,162	388	950	事務器, 計算機, その他	
借料	150	150	112	38	0		
事務経費	3,118	3,475	2,604	871	357		
通信運搬費	1,490	1,410	1,057	353	△80	郵便, 電話	
印刷製本費	930	920	689	231	△10	封筒, 雑誌製本, 総会資料	
旅費交通費	50	50	37	13	0		
会議費	40	20	15	5	△20	事務局分	
手数料	0	75	56	19	75		
事務委託費	608	1,000	750	250	392	発送, 会費請求, 入金, 会員異動	
電算機開発管理	240	1,400	1,050	350	1,160	会員データベース, 会計事務	
諸会費・謝金	344	464	348	116	120	会計士, 公益法人, 労災保険	
総会・役員会	1,043	696	521	175	△347		
パソコン通信	0	600	450	150	600	91年度, 集誌編集費から分離	
支部交付金	2,605	2,540	1,905	635	△65		
総会費用	800	0	0	0	△800		
租税公課	1,000	400	0	400	△600	前年度利益に課税	
雑費	1,681	0	0	0	△1,681	消費税, 91年度各科目に折込	
3 基本財産繰入	50	0	0	0	△50		
一般基金	0	0	0	0	0		
国際交流基金	50	0	0	0	△50		
4. 引当金繰入	600	350	350	0	△250		
退職引当金	300	350	350	0	50		
総会費用引当金	300	0	0	0	△300		
IAMAP 準備金	0	0	0	0	0		
5. 予備費	1,000	1,000	750	250	0		
6. 公益事業へ繰出	0	141	0	141	141	収益支出合計	18,408
当期支出合計	80,599	76,993	58,444	18,549	△3,606		
当期収支差額	△320	1,066	738	328	1,386		
次期繰越収支差額	3,780	2,974	327	2,647	△806		